

## 管内生徒指導研修会

いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた取組や児童生徒の好ましい人間関係づくりなどの生徒指導の充実と指導力の向上を目的とし研修会を行いました。管内全ての小中学校で確認したい事項については悉皆研修とし、その他の内容は希望研修とすることで、ニーズに合わせて先生方が主体的に講義を選ぶことができるようにしました。

### 講義A 生徒指導主事の役割について

《小学校部会》 講師：指導主事 藤島 洋介

- ★ 生徒指導の3機能〔①児童生徒に自己決定の場を与えること ②児童生徒に自己存在感を与えること ③児童生徒に共感的な人間関係を育成すること〕を意識することが大切
- ★ 校内研修等を通して、校内の連携体制を構築することはもちろん、関係機関等との連携を視野に入れた体制作りが必要

子どもたちの健やかな成長を目指し、組織が効果的に機能すること、教職員同士、教職員と子どもたちとのコミュニケーションを充実させることが大切です。

《中学校部会》 講師：指導主事 須藤 淳

- ★ 「積極的な生徒指導」の推進により、「自己指導能力」の育成を目指すことが大切
- ★ 生徒指導における危機管理を明確にし、問題を早期発見し早期対応できるような体制を整えておくことが必要

生徒指導は、すべての児童生徒のそれぞれの人格のよりよい発達を目指すとともに、学校生活がすべての児童生徒にとって有意義で興味深く、充実したものになることを目指すことが大切です。

### 講義B いじめの問題に取り組むための効果的な考え方と実践

講師：指導主事 皆川 晃宏

- ★ 子どもたちの変化に気付く「感性」を高めるとともに、それを分析的に把握することができる「悟性（ごせい）」を高めることが大切
- ★ いじめの進行レベルを的確に把握し、早期発見・早期対応に努めるとともに、未然防止の取組を学校・学級で行うことが大切

居場所づくりや絆づくりによる学級づくり、授業づくりによって、互いを認め合える人間関係と学校風土を児童生徒自らが作り出していくことが、未然防止の第一歩となります。

#### <研修者の感想から>

- 「日常的に」「未然に」という言葉が、ことのほか強く心に響きました。
- 講義の中で隣の人と話し合ったり、他の人の意見を聞いたりしたことが有意義だと感じました。
- 明日からまた、「子どもたちの笑顔のためにがんばろう」と思える時間になりました。

### 講義C よい人間関係づくりのための学級づくりについて

《小学校部会》 講師：指導主事 千田 有美

- ★ 学級経営・学習指導の基盤となるものは、「目指す子ども像をもつ」「信頼関係を築く」「児童理解に努める」こと
- ★ 「好ましい人間関係づくり」「一人一人の居場所づくり」「自分らしさが輝く場面づくり」を考慮した学級経営が大切

学級内に好ましい人間関係を築くには、子どもたちが互いのよさを見付け、認め合うことができるようにすることが大切です。そのためには、まず、教師が子ども一人一人のよさを見付け、学級全体に広げましょう。



《中学校部会》 講師：指導主事 中軽米 央子

- ★ 「居場所」とは、自分を認めてくれる人がいる集団であり、いつでも子どもは、自分の居場所を欲している
- ★ 学級づくりのために必要な教師の力は、「目的を明確にもつ力」「実態を正確に捉える力」「的確に導く力」の3つ

子ども一人一人の自己実現への意欲を育てることが大切です。そのため、「人間関係」をつくり、「居場所」をつくりましょう。

### 講義D 通常学級で指導が困難な児童生徒への支援について

講師：特別支援教育エリアコーディネーター 柿崎 明広

- ★ どの時代、どの社会で誰がどのように育て、何を教育するのかが、子どもの発達の内容や特徴に否応なく影響するので、発達には「環境」が重要
- ★ 自分の存在や力が意味のあるものだと思えることが大切

すべての子どもたちが過ごしやすい環境を整えると、特別な支援を必要とする子への個別の支援が減少するケースが多く見られます。一人一人よりもまず、環境を整えることを優先し、環境や援助者の強みや特色を生かすことが大切です。